

第3回十日町市中心市街地活性化協議会 議事録（要旨）

【日 時】	平成24年12月6日（木）	午後1時26分～午後2時46分
【場 所】	十日町商工会議所 多目的ホール	
【出席者】	委 員	23名
	事 務 局	5名
	十日町市担当	4名
	報道等	3名
	合 計	35名

1. 開会挨拶：十日町市中心市街地活性化協議会 会長 丸山秀二

(要旨) 本日の協議会では、内閣府との協議における指摘事項の報告と基本計画の事業を検討する。中活事業全体の予定時間も迫ってきており、行政とともに必死に動いて連携を上手く進めたい。

2. 報告：(1) 内閣府との協議について

説明者：市担当（山岸産業観光部長）

改正中心市街地活性化法が施行されてから6年が経過し、内閣府や経産省では中活政策の再構築に取り組むために有識者による検討会議を開催している。この中で「従来の中活計画のエリアが広過ぎるのではないか」という議論が出ている。

当市の場合は、南西エリアで事業が予定されておらず空白エリアとなっている。十日町病院周辺が飛び出た不整形となっており、計画のエリアに含むべきかを検討する必要がある。計画期間内に一定の事業効果が期待できるかどうか、十日町病院から駅の東側への回遊性を期待できるかどうかも含めて検討することが求められている。

また、11月29日には経済産業省主催の『商店街キャラバン』が開催された。これは経済産業省が中活計画を再構築するにあたり現場の生の声を聞くことを目的として開催するもので、全国の30都市で開催される。県内では当市と長岡市が選ばれた。

文化ホール建設予定地や旧娯楽会館跡地、旧田倉跡地の視察を行うとともに、商店街関係者との意見交換もした。この『商店街キャラバン』に選ばれた全国30都市のほとんどが中活計画を認定されているところから、まだ認定を受けていない当市が選ばれたことは経済産業省から心強い後押しを頂いていることと理解している。

3. 協 議：(1) 基本計画(案)について

説明者：市担当（富井・中心市街地活性化推進室長）

資料（概要版）に基づき以下について説明した。

第1章「中心市街地の活性化に関する基本的な方針」のうち

[4]十日町市中心市街地の課題と基本的な方針

[5]基本方針を具現化するための具体的な重要施策

第2章「中心市街地の位置及び区域」

第3章「中心市街地の活性化の目標」

第9章「4から8までに掲げる事業及び措置の総合的かつ一体的推進に関する事項」

発言者：澤口茂利（十日町農業協同組合経営管理委員会）

概要版P17にJA十日町の事業が記載されている。1か月間という短い協議期間だったが、現在コンサルタントに事業内容を依頼しており、来年の1月には結論がでる。多額なお金と駐車場の問題がある。概要版P18に駐車場の整備について記載されているが、やはりお店の前に駐車場があることがお客様に来て頂ける状況を作り出すことから、農協としては地形を利用して半地下の駐車場を作る予定。しかし、実現可能かどうかという問題もあることから、しっかりと市の方針を明示してほしい。

説明者：市担当（富井・中心市街地活性化推進室長）

現在、JA十日町と確認しながら計画作りを進めている段階。第一次的には、国の制度による内容であるかどうかを考えたい。その中には駐車場の補助対象項目があるので、それに合致する事業整備であれば補助金を申請できる。市民に開放する規模の駐車場であれば別の要件として考えられなくもないが、まずは第一次的な部分を確認したい。

発言者：澤口茂利（十日町農業協同組合経営管理委員会）

あそこに行ってみたいと思わせるような魅力的なモノを作れるかが重要であり、公共的な部分や商売とは別問題だと考えている。高齢者だけを対象とした施設が多いようだが、JA十日町では若い人から来て頂けるモノを作りたいと考えており、補助金や採算ベースは度外視している。規格にはまったものでは面白くなく、柔軟性のある施設づくりが重要。

発言者：丸山会長

JA十日町のプランニングが重要。行政の画一的な話だけでは物足りないという印象を持っているようだが、行政には行政の表現方法がある。必ず国が認定する方向に持っていくための表現は出来ると思うので、それを押す力がJA十日町にあるのかどうかということが試される。

お願いしたいのは、これまで経産省からは来市いただいているが、ハード事業が絡んでくるとなると国交省からもお越し頂きたい。総合的にアプローチしていると思うが、改めて国交省にも働きかけて欲しい。

発言者：村山政文（榊村山土建）

概要版P 2に掲載されている人口減少の具体的なデータを示して欲しい。また、P 20に市が整備するビルとして本町3丁目の会社が記載されているが、このビルを整備する前にプラザコアを整備しようという考えはなかったのか。

説明者：市担当（富井・中心市街地活性化室長）

現在お示しできるデータは、P 2の人口に関するデータで減少傾向にある。将来に向けた推計値のデータもあるようなので入手したら提示する。中心市街地の人口データを集計する作業はこれまで行っていないので検討したい。

P 20の取り組みについては、固有名詞は記載していないが榊西脇商店。候補地として記載して良いという許可が出たので公表したもので、より事業内容を具体化するために記載した。プラザコアについてはこれまで具体的にそういう話しが出なかったからであり、これから関係者と話を進めたい。

発言者：村山政文（榊村山土建）

市がやってくれるのであれば手を挙げる企業もあると思うので、優先順位を考えて欲しい。会頭を先頭に会議所が一生懸命やっているのだから、専門店会や商業組合が「我々もやっていこうじゃないか」といった気運が盛り上がるように声掛けして欲しい。

発言者：庭野茂美（十日町市商店街振興組合連合会）

30年前にあのビルを取得。3億円の借金をしたが、ようやく1億円までに減った。残債を早く返済したい。事業に取り組むとなると苦しい部分もあるが、検討の余地はある。

発言者：丸山会長

国からの指摘事項は国道117号線の西側エリアについてが多いが、JA十日町やプラザコアは東側エリアになる。エリアの観点から見ると良いこと。

発言者：後藤和夫（十日町市文化協会連合会）

概要版P 19に記載されているにぎわいと交流の場の創出について、文化・芸術ということ意識していることはありがたいこと。中央公民館とまちなか公民館を別々の場所に設置することは回遊性の観点から良いことだが、生涯学習課やサークル活動等を含めてそれぞれどのような役割を担うのか。

説明者：市担当（富井・中心市街地活性化室長）

中央公民館の機能は生涯学習課・公民館の主催事業を担い、まちなか公民館の機能としてサークル活動・市民活動の人たちが貸館として使うことを想定している。

発言者：後藤和夫（十日町市文化協会連合会）

このまま進めて欲しい。ワークショップを行っていくようだが、この他にも石彫プロムナードや芸術協会で分庁舎をお願いしている美術館関係の展示場が交流センターに移るようであり、美術館のような物を公民館に設置して欲しい。ワークショップを行う際には芸術協会または文化協会連合会に声を掛けて欲しい。

発言者：丸山会長

芸術協会としては『石彫シンポジウム』にひと区切りつけ、『石彫シンポジウム』で市民講座をやってきた人が中心になってサークル活動でやってみたいという声もある。

発言者：後藤和夫（十日町市文化協会連合会）

伝統芸能を芸術の域まで高めたいということで取り組んでいるので、伝統芸能ではなく伝統芸術に変更して欲しい。

説明者：市担当（富井・中心市街地活性化室長）

語句については検討してみる。

発言者：丸山会長

概要版P20にある中心市街地活性化基金事業については民間から積極的な協力を頂き、概ね目標金額に近づいた。行政からも積極的な支援をして頂きたいので、次回の協議会までに明示して欲しい。

4. その他

説明者：市担当（富井・中心市街地活性化室長）

内閣府との協議を年内に1回、年明けに1回予定している。次回の協議会で計画案を一括で示したい。厚い資料となるので説明にかなりの時間を要する。第4回目だけで説明するのは難しいので、第5回まで協議会を開催することになる。

5. 閉会挨拶：中心市街地活性化協議会役員会理事 庭野茂美

(要旨) 第2回と第3回協議会で概要版の説明を行ったが、第4回には全体計画が出来る。

内閣府や経済産業省からの指導に基づいて随時修正作業を行っている。当初予定では12月には計画認定を受ける予定であったことから、スケジュールが押している。改正中心市街地活性化法はハードルが高いということで不安はあるが、熟度を増すような指導・指摘を頂いているのでありがたい。月1回程度のペースで会議が開かれているが、今後も大勢の委員から参加頂き、活発な議論を交わして頂きたい。